

Jp ファームウェアバージョンアップによる変更内容

Z fc 「活用ガイド」の内容は、ファームウェアのバージョンがC:1.20であることを前提に説明しています。お使いのカメラのファームウェアがC:1.30またはC:1.40の場合、この補足説明書の内容が追加または変更されています。あわせてお読みください。

バージョンアップ方法について

カメラのファームウェアバージョン確認およびバージョンアップは、セットアップメニュー [ファームウェアバージョン] で行えます。

カメラのファームウェアをバージョンアップするには、パソコンをお使いになる方法とスマートフォンをお使いになる方法があります。

- **パソコンをお使いの場合**：ニコンダウンロードセンターで新しいバージョンのファームウェアがあるか確認できます。バージョンアップの手順については、ファームウェアのダウンロードページをご覧ください。

<https://downloadcenter.nikonimglib.com/>

- **スマートフォンをお使いの場合**：SnapBridgeアプリでカメラとスマートフォンをペアリング済みの場合、カメラの新しいファームウェアがあるとアプリにお知らせが表示され、スマートフォン経由でファームウェアをカメラ内のメモリーカードに転送できます。バージョンアップの手順については、SnapBridgeアプリのヘルプをご覧ください。お知らせが表示されるタイミングは、ニコンダウンロードセンターで公開されるタイミングと異なる場合があります。

ファームウェア (C: 1.30) による 変更点について

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] / g2 [カスタムボタンの機能] に [フォーカス位置の登録] / [フォーカス位置 の呼び出し] の追加

カスタムメニュー f2 [カスタムボタンの機能 (撮影)] と g2 [カスタムボタンの機能] で割り当てられる機能に [フォーカス位置の登録] と [フォーカス位置の呼び出し] が追加されました。[レンズのFnボタン] に [フォーカス位置の登録] を、[レンズのFn2ボタン] に [フォーカス位置の呼び出し] をそれぞれ割り当てると、あらかじめレンズにピント位置 (フォーカス位置) を登録して、素早く呼び出すことができる、メモリーリコール機能が使用できます。決まったピント位置で頻繁に撮影する場合に便利です。

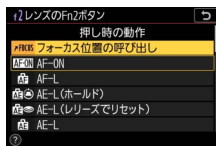
- メモリーリコール機能は、**Fn**ボタンと**Fn2**ボタンのある、オートフォーカス可能なZマウントレンズの装着時にのみ使用できます。**Fn2**ボタンのないレンズの場合、レンズの**Fn**ボタンに [フォーカス位置の登録] を割り当てていてもピント位置を登録できません。
- ピント位置の登録と呼び出しは、静止画モードと動画モードのどちらでも可能です。
- ピント位置の登録は、フォーカスモードの設定にかかわらず可能です。
- カメラからレンズを取り外したり、レンズを交換した場合は登録したピント位置がリセットされます。

■ メモリーリコール機能の使い方

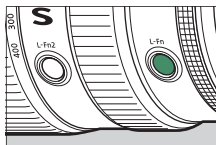
- 1 カスタムメニュー **f2** [カスタムボタンの機能 (撮影)] または **g2** [カスタムボタンの機能] にある [レンズのFnボタン] で [フォーカス位置の登録] を選ぶ



- 2 カスタムメニュー **f2** [カスタムボタンの機能 (撮影)] または **g2** [カスタムボタンの機能] にある [レンズのFn2ボタン] で [フォーカス位置の呼び出し] を選ぶ

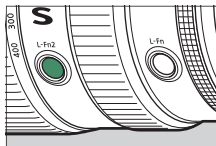


- 3 撮影画面で被写体にピントを合わせ、レンズのFnボタンを長押しする
ピント位置が正しく登録されると、撮影画面に **AF** アイコンが表示されます。



- 4 レンズのFn2ボタンを押す

- 登録したピント位置にセットされます。
- レンズの **Fn2** ボタンを押している間は、フォーカスモードが **MF** に変更され、シャッターボタンを半押ししてもピント位置は移動しません。



✔ メモリーリコール機能についてのご注意

- インフォ画面の表示中は、ピント位置を登録することはできません。
- 環境温度の変化によっては、登録時と呼び出し時のピント位置が変わることがあります。
- ピント位置を登録した後にズーム操作で焦点距離を変えると、呼び出し時にピント位置が変わりやすくなります。この場合、セットアップメニュー [電子音] > [電子音設定] が [無効] 以外に設定されていると、ピント位置を呼び出したときに電子音が短く4回鳴ります。

ヒント：電子音について

- セットアップメニュー [電子音] > [電子音設定] が [無効] 以外の場合に、静止画モードでピント位置の登録や呼び出しを行うと、電子音が短く2回鳴ります。
 - サイレント撮影時や動画モード時、および [電子音] > [電子音設定] が [無効] の場合は、電子音は鳴りません。
-

ファームウェア (C: 1.40) による 変更点について

パワースームレンズに対応

■ カスタムメニューにf7/g5 [パワースームのボタン操作 (PZレンズ)] 追加

カスタムメニュー f7 および g5 として [パワースームのボタン操作 (PZレンズ)] が追加されました。パワースームに関する設定ができます。

項目	内容
[Q/Q _∞ ボタンの使用]	<p>[する] に設定すると、Q ボタンを押している間は望遠側に、Q_∞ ボタンを押している間は広角側に電動でズーミング (パワースーム) することができます。</p> <ul style="list-style-type: none">カメラとリモートグリップ MC-N10 を接続している場合、[する] に設定すると、リモートグリップの Q ボタンと Q_∞ ボタンでもズーミングすることができます。カメラとリモコン ML-L7 を接続している場合、[する] に設定すると、リモコンの + ボタン (望遠側) と - ボタン (広角側) でもズーミングすることができます。
[パワースーム速度]	<p>ボタン操作でパワースームするときのズーミングの速度を、一側にすると低速に、+側にすると高速に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none">カスタムメニュー g5 [パワースームのボタン操作 (PZレンズ)] の場合は、[動画記録待機中] および [動画記録中] のそれぞれを設定できます。

- この機能は、パワースームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- このメニュー項目の追加によって、カスタムメニュー [ハイライト表示] の番号はg5からg6に変更されました。

✔ レンズの動作音についてのご注意

- 動画記録中にズームを行うと、レンズの動作音が記録されることがあります。ボタン操作でパワースームするときにはレンズの動作音が気になる場合は、カスタムメニュー g5 [パワースームのボタン操作 (PZレンズ)] の [パワースーム速度] の [動画記録中] を一側 (低速) に設定することをおすすめします。

■■ セットアップメニューに [ズーム位置の記憶 (PZレンズ)] 追加

セットアップメニューに [ズーム位置の記憶 (PZレンズ)] が追加されました。[する] に設定すると、カメラの電源をOFFにして再度ONにした場合に、ズーム位置が電源OFFの前と同じ位置に保持されます。

- この機能は、パワースームに対応したレンズを装着している場合のみ有効です。
- 製品名が異なるレンズに交換した場合はズーム位置がリセットされます。

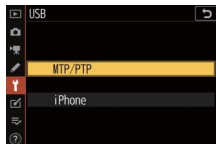
■■ 撮影画面に焦点距離の表示を追加

撮影画面に焦点距離の表示が追加されました。パワースームに対応したレンズを装着している場合のみ表示されます。



セットアップメニューに [USB] 追加

セットアップメニューに [USB] が追加されました。スマートフォン用アプリ NX MobileAirアプリを使用して、カメラで撮影した画像をUSBケーブルで有線接続したiPhoneにインポートできるようになりました。



- パソコンやAndroid端末と接続する場合は [MTP/PTP] に設定してください。
- 市販のiPhone用USB-C to LightningケーブルでiPhoneと接続し、NX MobileAirアプリを使用する場合のみ [iPhone] に設定してください（使用できるUSB-C to Lightningケーブルについての詳細は、NX MobileAirアプリのヘルプをご覧ください）。
- iPhoneとの接続の有無にかかわらず、[iPhone] に設定している場合、次の機能が無効になります。これらの機能を使うには、[MTP/PTP] に設定してください。
 - カメラに内蔵されている通信機能
 - セットアップメニュー [リモコン (ML-L7) 設定]
 - USBケーブルを使用した給電とバッテリーの充電（別売の本体充電ACアダプターを使用した給電と充電もできません）
- NX MobileAirアプリはApple App Store®またはGoogle Play™でダウンロードできます。

リモートグリップMC-N10に対応

使用できるアクセサリーにリモートグリップMC-N10が追加されました。MC-N10をカメラに接続すると、撮影や設定変更などの操作をMC-N10で行うことができます。MC-N10は、市販の撮影用機器に取り付けるためのロゼットを備えています。MC-N10をARRI互換のロゼットアダプターが付いている撮影用機器に固定すると、被写体の動きに合わせてパンニングしながらピントを合わせたり、カメラに触れることなく手元で露出やホワイトバランスを調整したりできます。